れんごう鳥取

JTUC

2012年3月2日
No. 3

発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・五十嵐美知義　編集人・本岡厚志
〒680-0847　鳥取市天神町30-5
TEL(0857) 26-6605・FAX(0857) 26-6615
E-mail:tottori@mlaa.rengo-net.or.jp
ホームページ: http://www.rengo-tottori.net

春季生活闘争のヤマ場に向けた揺るぎない決意と態勢固めを確認

―2012春季生活闘争勝利総決起集会を開催―

デモ行進の様子

あいさつする
西川東部地協議長

産別決意表明する
林さん（JAM）

アピールを読み上げる
平井さん（全国ガス）

県内3カ所で開催する「2012春季生活闘争勝利総決起集会」の皮切りとなる「東部地協総決起集会」が、3月2日（金）、JR鳥取駅前「風紋広場」において実施され、冷たい雨の中集った約700人の組合員が、すべての労働者の処遇改善を求め気勢をあげました。

初めに、西川東部地協議長が「これからの数ヵ月の闘いには、私たち働くものの生活と権利が、そして日本の社会の安心と安定がかかっているといっても過言ではない。厳しい環境下の中で、過酷な交渉が予想されるが、職場、地域の仲間、そして構成組織の結束のもと、一致団結し『働くことを軸とする安心社会』の実現と、すべての労働者の処遇改善をめざし、最後まで闘いぬこう。」とあいさつしました。

次に、五十嵐連合鳥取会長が「今春闘の争点は、①すべての労働者の処遇改善に向けた取り組みを進めていく②賃金カーブ維持と1％を目安に賃金を含め適正な配分である。まずはすべての労働組合が要求書を提出し交渉していこう。」と闘いの柱を訴えました。

続いて、国会会期中で多忙の中、駆けつけていただいた湯原俊二民主党鳥取県総支部連合会代表と坂野経三郎鳥取県議会議員より、来賓を代表し激励のあいさつをいただきました。

その後、産別を代表して、JAM大鳥機工労組より春闘における決意表明を行うとともに、「集会アピール」と、「3・8国際女性デーアピール」を採択しました。

最後に、西川議長による「団結ガンバロー」を行い、参加者全員でシュプレヒコールをしながら市内をデモ行進しました。

3月9日（金）には中部・西部の組合員が集まりそれぞれの地協を中心に総決起集会開催します。

集会アピール（要旨）

今春闘は生産性向上や震災からの復旧・復興に向けた春闘である。

すべての労働者の処遇改善に向け、未組織、パート労働者を含むすべての働く仲間たちに闘いの輪を広げる取り組みをすすめるとともに、労働者派遣法の早期成立を求めていく。

また高年齢者雇用安定法の改正、有期契約労働の法制化の取り組みにも全力を尽くす。

連合鳥取に集うすべての労働者がその役割と責任を自覚し、あらゆる手段を尽くして納得できる回答を引き出す闘いを進め、最後まで闘い抜こう。

■ 2012春季生活闘争特集 ■

組合員の生活防衛のため一致団結して春闘に勝利しよう！ －各地協単組代表者会議を開催－

2012春季生活闘争方針の浸透と具体的活動について理解を深めるため、東部・中部・西部地協主催で「単組代表者会議」を開催しました。

中部地協単組代表者会議
2月7日(火)／県立倉吉体育文化会館

西部地協単組代表者会議
2月9日(木)／弓ヶ浜荘

東部地協単組代表者会議
2月10日(金)／ホープスターとっとり

このうち、中部地協は2月7日(火)、県立倉吉体育文化会館において「単組代表者会議」を開催し、27単組53人が出席しました。

まず初めに、名和中部地協議長から「すべての労働者の処遇改善を掲げて3年目となるのでしっかり取り組んでいこう」という決意と、連合鳥取五十嵐会長からは、前日開催された鳥取県経営者団体との意見交換の内容を踏まえたあいさつが行われました。

続いて、連合鳥取田中事務局長から連合鳥取2012春季生活闘争方針について説明がされ、次に中部地協からは山田事務局長が2012春季生活闘争の取り組み、組織拡大、政策・制度要求についてなどを提案し出席者全体で確認をしました。

最後に、連合鳥取推薦議員との意見交換会を行い、中部選出の5人の議員から、日頃の議会活動報告が行われ組合員との共通認識を図りました。

写真　上段左から／興治英夫 県議会議員、福井康夫 倉吉市議会議員、中野　隆 倉吉市議会議員
下段左から／酒井幸雄 湯梨浜町議会議員、津川俊仁 北栄町議会議員

県内情勢共有化を求めて －経営者団体との意見交換会を開催－

2月6日(月)対翠閣(鳥取市)で、連合鳥取より五十嵐会長をはじめとする役員9名と、鳥取県経営4団体から各団体会長以下8名が出席し、2012春季生活闘争における労使の主張、考え方の意見交換の場を持ちました。

中小経営の悩み、リーマンショックからの影響、雇用維持する方策(国の施策)、円高の関係、東日本大震災の影響、最低賃金関係、希望者全員の65歳までの雇用確保など、経営側・労働側より様々な意見が出されました。

また、来年以降は、労使で「共同宣言文」を作成し、行政や県選出の国会議員に要請行動を行うことを確認しました。

非正規労働者を含めたすべての労働者の処遇改善をめざして －全国一斉相談ダイヤルを実施－

2月1日(水)～3日(金)の3日間、連合本部と全国の地方連合会は、組織されていない多くの非正規労働者の雇用や労働条件の問題解決に向けた「集中労働相談キャンペーン＝非正規労働ホットライン＝」活動を展開しました。その結果、全国で1,017件もの相談が寄せられました。

連合鳥取も新聞広告や各地協によるチラシ・ティッシュ配布による「相談ダイヤル」の事前PRを行ったところ、集中相談日までの1月中に2件の労働相談が寄せられました。

《全国の相談内訳》

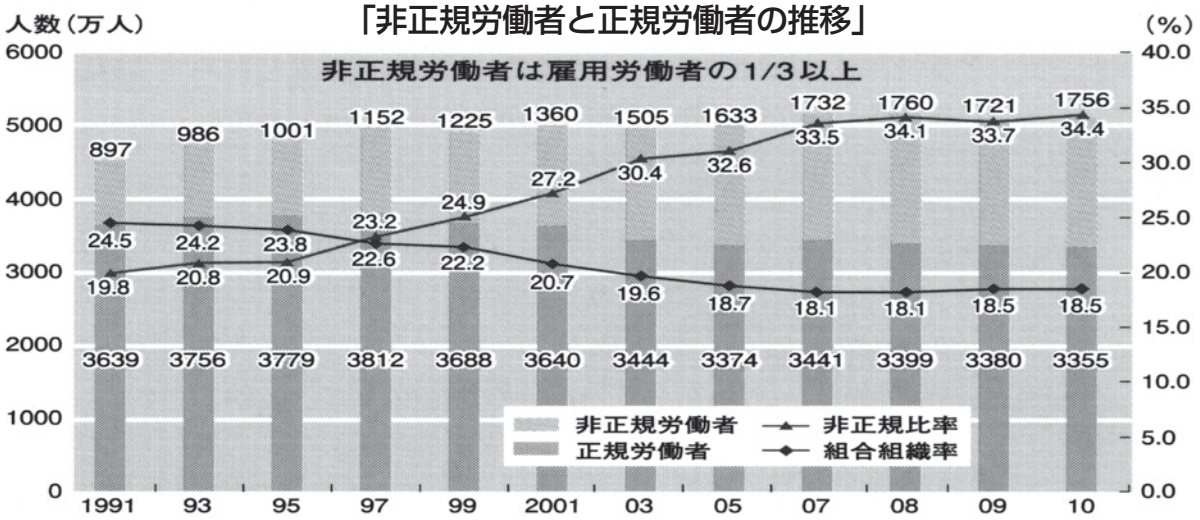
- ■ 解雇・退職強要・契約打切（10.3%）
- □ セクハラ・嫌がらせ（10.1%）
- ■ 年次有給休暇（7.8%）
- □ 不払い残業、休日手当、割賃未払い（6.2%）
- ■ 就業規則・雇用契約（5.8%）

2012春季生活闘争

point!

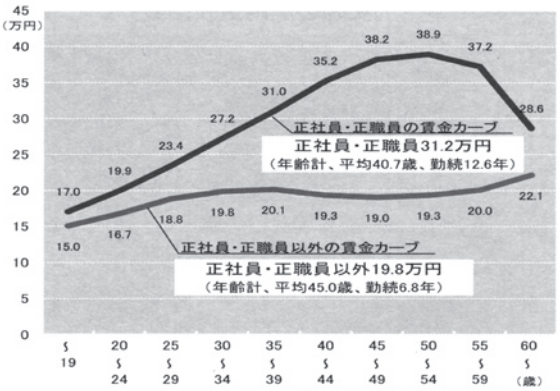
■連合鳥取重点取り組み課題■
1．要求書の提出
2．非正規労働者を含めた全労働者の処遇改善
3．企業内最低賃金の協定化
4．総労働時間の短縮と時間外割増率の引き上げ
5．希望者全員の65歳までの雇用確保

「非正規労働者と正規労働者の推移」



総務省（庁）統計局「労働力調査詳細結果」、厚労省「労働組合基礎調査」

「正規労働者及び正規労働者以外の賃金カーブ」



■注　：　賃金は所定内給与
「正社員・正職員」とは、事業所において正社員・正職員としている労働者であり、「正社員」、「正規社員」等、事務所での呼称を問わない
「正社員・正職員以外」とは、事業所の常用労働者のうち「正社員・正職員」に該当しない労働者であり、「パート」「アルバイト」「嘱託」「準社員」等、事務所での呼称を問わない

■出所：　厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（2012）

「性による不合理な格差のない社会」をめざして　－女性委員会「3.8国際女性デー」をアピール－

連合鳥取女性委員会は、春季生活闘争の一環として全国の女性とともに「3.8国際女性デー」のアピールに取り組みました。

具体的には、3月2日（金）「東部地協２０１２春季生活闘争勝利総決起集会」において「3.8国際女性デーアピール」の採択や、ティッシュを配布しました。

3月9日（金）に行れる中部・西部地協の「２０１２春季生活闘争勝利総決起集会」の場でも同様の取り組みを実施します。

アピールを読み上げる吉田女性委員会委員長

ティッシュを手渡す女性委員会役員

※3.8国際女性デーとは？

1857年3月8日、ニューヨークの被服工場で働く女性たちが劣悪な労働条件と低賃金に抗議を行ったことが起源と言われています。

また、1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善・労働時間短縮・参政権を求めるデモを行い、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」を掲げデモを行いました。

この日を記念し、3月8日は「国際女性デー」として、女性たちが平等と尊厳を求める行動の日となり、世界各国で様々な行動が展開されています。

Information

『災害のこと、私たちが今知っておくこと。～東日本大震災から1年を経て～』
防災学習会を開催

◇日時　**2012年3月28日（水）**
10時30分～12時00分
◇場所　全労済鳥取県本部5階大会議室
◇目的　東日本大震災から1年を迎え、災害対策や減災について知識を高めるとともに、身を守ることの大切さを意識する。
◇内容　・西田良平 鳥取大学名誉教授の講演
・ぼうさいカフェ、防災グッズ・パネルの展示
・非常食の紹介

◇連合鳥取・鳥取県労福協・中国労金・全労済の4団体共催事業として行います。
※詳しくは連合鳥取事務局へお問い合わせください。

第83回鳥取県メーデー大会

◇実施日　**2012年4月29日（日）**
◇場　所　県内3ヵ所で開催（中央＝西部）
◎メインスローガン
日本全体でつながり・支えあおう！ すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう！
※各地域メーデー大会の詳細が決定次第、ご案内いたします。

メーデー川柳　作品募集

◎メーデースローガンをテーマとした川柳を募集します。
≪実施要領≫
◇表彰　最優秀賞＜1点＞
優秀賞　＜3点＞
佳　作　＜6点＞
◇応　募
各単組より2点程度
◇〆切日
4月2日（月）連合鳥取必着
・入選作品はメーデー大会当日に配布する資料に掲載するとともに、各会場で表彰します。

連合テレビCM放送中

連合鳥取は、連合島根と共同で、連合本部作成の15秒スポットCM
「連合 企業 労働ということ」
をBSS放送で放映しています。
※放映時間等については連合鳥取ＨＰでご確認ください。

人が動くと、労いや労わりが生まれる。
労働ということばは、やさしい。
働くことを軸とする安心社会へ　連合

連合鳥取ＨＰ
http://www.rengo-tottori.net　連合鳥取　検索

産別・単組活動紹介

◇ 全国ガス ◇

全国ガス労働組合連合会（略称：全国ガス）は、全国のガスをはじめとする関連産業に働く労働者の仲間、約26,000人（85単組）が結集している「ガス産業」唯一の産業別労働組合の組織です。1946年7月2日に「全国瓦斯労働組合連絡協議会」として結成され、2011年7月に65周年を迎えました。

全国ガス鳥取県連絡協議会は、鳥取と米子の93名（2単組）で構成され、中国四国地方連合会の11単組と共に連携し活動を行っています。

主な活動としては、各単組役員が参加する情報交換会の定期的な開催・他単組開催の学習会への参加、青年部対象の友好祭及びブロック交流会への参加などを通して組織の繋がりを図り、他単組との協力体制を構築しています。

全国ガス鳥取県連絡協議会としましては、組合員の減少が進む中、これからも連合各地協の活動へ積極的に参画していきます。

てんじんこらむ

今春闘で連合は、すべての労働者の生活が改善される取り組みを進める方針を掲げている。しかし、企業側のスタンスは「企業にとって生き残りをかけた正念場」と位置づけて、定昇凍結の可能性も言及しており、労働者側との対決姿勢を鮮明にしている。これまで以上に厳しい闘いとなることが予想される▼日本経済の停滞理由のひとつに、生産年齢人口の減少による消費減退が原因であるといわれている。日本では10年にわたって、住宅や車など生産年齢人口に連動しやすい特定の業界で供給過剰による値崩れが続いており、その結果、企業は人件費を削り、さらに内需が縮小していく状態となっている▼経済を向上させるには消費の拡大が必要であり、そのためには賃金を上げて所得を増やす必要がある。特に若年層や女性は購買意欲が高いため効果が大きい▼賃金が上がらなければ、消費は拡大しない。ましてや、賃金が下がれば消費が縮小し、日本経済はますます低迷することになる。日本復活に向け、企業による労働者への投資努力を期待したい。（壽）

紙 再生紙を使用しています